

第851回大学院医学系研究科・医学部 倫理委員会A議事要録

日 時 2026年09月07日（月） 15:00～17:10
 場 所 WEB開催
 出席者 梅崎委員長、加藤副委員長、緒方、仲上、藤本、春名、廣田、蔵野、大島、奥川、本庄、河添、犬塚、小川、佐々木、瀧川、松留、入江 各委員 梅崎委員長、加藤副委員長、緒方、仲上、藤本、春名、廣田、蔵野、大島、奥川、本庄、河添、犬塚、小川、佐々木、瀧川、松留、入江 各委員
 欠席者 なし
 陪席者 上竹、小池、蔵並、深田、牛村、今井（以上、研究倫理支援室）

○前回の委員会議事要録の確認が行われた。

○報告事項

1. 既に承認されている案件について、軽微な変更と認め委員長一任で承認した報告が行われた。（14件）

番号	申請者	所属	職名	研究課題
2024311NIe- (2)	藤原 清香	リハビリテーション部	准教授	先天性上肢形成不全児における筋電義手の使用と不使用に影響する要因の検討
2021147NI- (8)	建石 良介	消化器内科	准教授	切除不能肝細胞癌患者に対する Atezolizumab+ Bevacizumab併用療法の多施設共同前向き観察研究 (ELIXIR)
2023350NIe- (4)	鹿毛 秀宣	呼吸器内科	教授	アカデミア・アセンブリにおける多機関共同 症例レジストリー研究
2025502NI- (1)	山本 則子	高齢者在宅長期ケア看護学	教授	介護施設における職場環境と職員のウェルビーイングに関する調査研究
2021315NIe- (6)	松山 裕	生物統計学/疫学・予防保健学	教授	精神疾患レジストリにおける予後・転帰予測の検討および新規解析手法の検討
2024019NI- (4)	齊藤 延人	脳神経外科	教授	脳神経血管内治療の長期成績に関する多施設共同登録研究
2025361NI- (3)	田口 歩	女性外科	助教	婦人科悪性腫瘍におけるDNAメチル化と分子病態・臨床転帰に関する包括的解析研究
2021267NIe- (1)	大庭 幸治	情報学環・学際情報学府	教授	女性診療支援アプリケーションWaiSE(ワイズ)の臨床試用
2025501NI- (1)	廣田 泰	女性診療科・産科	教授	妊孕能温存を目的とした子宮腺筋症病巣除去術の長期的な有効性・安全性を評価・検討する多施設症例登録研究
2023289NIe- (5)	宮川 卓也	皮膚科	講師	皮膚悪性腫瘍レジストリ研究 Japan Skin Cancer Registry Study (JSCaRS)
2024140NIe- (2)	廣田 泰	女性診療科・産科	教授	生殖医療ガイドラインと新保険制度の運用実態調査と今後の改良に向けた研究
2026165NI- (1)	笠井 清登	精神神経科	教授	大規模災害発生時における災害医療拠点病院看護職員の健康指標開発に向けた実態調査
2024316NIe- (1)	牛久 哲男	病理部・人体病理学・病理診断学	教授	感染症解剖症例レジストリ構築のための課題抽出と解決方法の検討
2026244NIe- (1)	野中 孝浩	臨床研究ガバナンス部	特任教授	高齢の親又は祖父母を有する一般市民における臨床試験参加に関する実態・意識調査

2. 終了報告について、委員長一任で確認された。（4件）

番号	申請者	所属	職名	研究課題
2022255NI	小川 純人	老年病科	准教授	国保データベース(KDB)を用いた高齢入院患者退院時の医薬品栄養剤の処方による医療経済効果に関する検討
2024021NI	藤城 光弘	消化器内科	教授	胃型形質を有する表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍の内視鏡・病理学的特徴に関する多機関共同適及的研究

2018159NI-(4)	三谷 知広	企画情報運営部	助教	医療安全集中監視を目指したAIによるインシデント早期検知プログラムの開発研究
2023308NI-(1)	池田 真理	家族看護学	教授	日本と韓国の看護職者の癒しの経験の探索

3. 研究登録について、委員長一任で確認された。(3件)

番号	申請者	所属	職名	研究課題
2026219NIe	大島 司	循環器内科	助教	肺高血圧症患者における上室性頻拍に関する検討
2026266NIe	小泉 聡	脳神経外科	助教	脳動脈瘤塞栓術におけるバルーン付きガイディングカテーテル使用と術中破裂後の転帰との関連
2026297NIe	中澤 栄輔	医療倫理学	教授	リアルワールドデータを用いた精神科・医療倫理疫学研究

○議事

- No. 2026344NI (新規) 島辺 宗健 (Director) 「X染色体連鎖性低リン血症 (XLH) 患者におけるウェアラブルデバイスを用いた身体活動評価に関する前向き観察研究」

【直接審査】【外部案件】【一括審査】

本審査には研究分担者として細見 謙太氏及び山口 詩真氏が、研究協力者として末永 名央氏が出席した。
研究分担者の細見 謙太氏より、研究の概要、共同研究機関間の連携体制、一括審査依頼機関等について説明が行われた。

【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】の観点から人文・社会科学の有識者である委員より、謝金の支払い及び研究対象者の算定について質問があり、内容の確認を行った。

【個人情報保護】の観点から自然科学の有識者である委員より、デバイスより取得する情報について質問があり、内容の確認を行った。

引き続き、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】の観点から委員より、組み入れ基準について質問があり、内容の確認を行った。

【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】の観点から人文・社会科学の有識者である委員より、研究参加による研究対象者の行動変容について指摘があり、出席委員にて討議を行い、本委員会における指摘事項への回答と、訂正を加えた説明文書の提出を受けた上で、委員長一任で承認することが確認された。

【指摘事項】

- ・説明文書について見直しを行うこと

【附帯事項】

- ・一括審査依頼状等の取り扱いについては研究代表者の責任において収集・保管すること
- ・覚書の第12条の規定に従い、実施状況報告、終了届の提出等を適切に実施すること
- ・実施機関において実施許可を得た上で、安全かつ適切な実施に努めること

- No. 2026310NI (新規) 樫尾 明憲 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科・准教授) 「補聴における音声遅延と信号対雑音比が雑音下聴取に与える影響の解明」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

- No. 2026322NI (新規) 五十嵐 正樹 (糖尿病・代謝内科・講師) 「糖尿病足外来がセルフケア行動および糖尿病管理に与える影響についての前向き観察研究」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

- No. 2026313NI (新規) 柴沼 晃 (国際地域保健学・講師) 「ネパールの農村部における女性地域保健ボランティアの新生児および小児疾患の統合管理ケアの研修間隔とパフォーマンスレベルの関連：横断研究」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

5. No. 2026312NI（新規） 奥原 剛（医療コミュニケーション学・准教授）「在米日本人家庭の医療場面における子供による言語仲介（Child Language Brokering）に関する質的研究 Child Language Brokering in Medical Settings: A Qualitative Study among Japanese Families in the United States」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

6. No. 2026317NI（新規） 土井 研人（救急科・教授）「日本の集中治療における超高齢患者の管理に関する専門家コンセンサス研究（修正Delphi法）」

〔一括審査〕

担当の委員から研究の概要、共同研究機関間の連携体制、一括審査依頼機関、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・一括審査依頼状等の取り扱いについては研究代表者の責任において収集・保管すること
- ・新規申請・変更申請においては、審査結果および承認事項について、各共同研究機関に周知すること
- ・各共同研究機関では、実施機関の長から機関ごとの実施許可を取得しなければ、研究を開始できないことに注意すること
- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

7. No. 2026325NI（新規） 齊藤 貴志（神経病理学・教授）「ヒト試料を用いた脳加齢および神経変性疾患の発症を規定する因子の時空間的探索研究」

〔一括審査〕

担当の委員から研究の概要、共同研究機関間の連携体制、一括審査依頼機関、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・一括審査依頼状等の取り扱いについては研究代表者の責任において収集・保管すること
- ・新規申請・変更申請においては、審査結果および承認事項について、各共同研究機関に周知すること
- ・各共同研究機関では、実施機関の長から機関ごとの実施許可を取得しなければ、研究を開始できないことに注意すること
- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

8. No. 2026242NI（新規） 櫻谷 あすか（デジタルメンタルヘルス（社会連携講座）・特任講師）「職場におけるジョブ・クラフティングプログラムの効果評価：クラスターランダム化比較試験」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

【研究対象者の保護・安全性の保持】【個人情報保護】の観点から一般の立場である委員[]より、個人が特定される情報の適切な取得及び保護について指摘があり、出席委員にて討議を行い、本委員会における指摘事項への回答と、訂正を加えた説明文書の提出を受けた上で、委員長一任で承認することが確認された。

【指摘事項】

- ・説明文書について見直しを行うこと

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと
- ・調査対象企業が追加された場合には、適切なタイミングで変更申請を行うこと

9. No. 2026321NI（新規） 大野 幸子（イートロス医学講座（社会連携講座）・特任准教授）「日本人成人における飲料に着目した食事の質向上のための行動変容支援アプリ開発と行動・環境介入効果の検証」

〔一括審査〕

担当の委員から研究の概要、共同研究機関間の連携体制、一括審査依頼機関、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

ら、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・一括審査依頼状等の取り扱いについては研究代表者の責任において収集・保管すること
- ・新規申請・変更申請においては、審査結果および承認事項について、各共同研究機関に周知すること
- ・各共同研究機関では、実施機関の長から機関ごとの実施許可を取得しなければ、研究を開始できないことに注意すること
- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

10. No. 2026319NI（新規） 林田 賢史（ナースングデータサイエンス講座・特任教授）「看護師の業務量評価とその活用に関するインタビュー調査」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

11. No. 2026307NI（新規） 松山 裕（生物統計学/疫学・予防保健学・教授）「小児における術中の血圧管理と術後急性腎障害の関連に関する後ろ向き観察研究」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

12. No. 2026320NI（新規） 大野 幸子（イートロス医学講座（社会連携講座）・特任准教授）「周術期口腔機能管理の依頼行動と実施上の障壁に関する医師への半構造化インタビュー調査」

[一括審査]

担当の委員から研究の概要、共同研究機関間の連携体制、一括審査依頼機関、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・一括審査依頼状等の取り扱いについては研究代表者の責任において収集・保管すること
- ・新規申請・変更申請においては、審査結果および承認事項について、各共同研究機関に周知すること
- ・各共同研究機関では、実施機関の長から機関ごとの実施許可を取得しなければ、研究を開始できないことに注意すること
- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

13. No. 2026311NI（新規） 五十嵐 正樹（糖尿病・代謝内科・講師）「東京大学医学部附属病院の糖尿病足外来に通院する患者を対象とした後ろ向き横断研究」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

14. No. 2026309NI（新規） 稲垣 安沙（高齢者在宅長期ケア看護学・特任助教）「独居高齢者への地域住民を巻き込むエンドオブライフケアモデルの実現可能性の検討」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

15. No. 2026318NI（新規） 南谷 優成（放射線科・助教）「職域におけるがん検診を含む健康診査計画の立案プロセスの実態解明」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

16. No. 2026331NI（新規） 長谷川 潔（肝・胆・膵外科・教授）「MASH関連肝細胞癌に対する肝移植後の再発および生存を規定する因子としての代謝治療、免疫抑制、腫瘍生物学の検討」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

17. No. 2026308NI（新規） 山本 真也（感染症内科・助教）「院内発熱の現代的な原因と診断検査の意義に関する記述的研究」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

18. No. 2026324NI（新規） 松山 裕（生物統計学/疫学・予防保健学・教授）「マンモグラフィ検査における高濃度乳房と血中代謝物との関連の検討」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

19. No. 2026330NI（新規） 南學 正臣（腎臓・内分泌内科・教授）「腎臓専門医療へのアクセスが限られる地域における腎臓診療体制及びオンライン診療の活用実態に関する質問紙調査及びインタビュー調査」

[一括審査]

担当の委員から研究の概要、共同研究機関間の連携体制、一括審査依頼機関、個別審査における審査内容及び経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。

審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】【研究の科学的合理性確保】【個人情報保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】

- ・一括審査依頼状等の取り扱いについては研究代表者の責任において収集・保管すること
- ・新規申請・変更申請においては、審査結果および承認事項について、各共同研究機関に周知すること
- ・各共同研究機関では、実施機関の長から機関ごとの実施許可を取得しなければ、研究を開始できないことに注意すること
- ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

○その他

- ・事務局より、一括審査外部委託案件について3件報告を行った。
- ・事務局より、委員会運営検討事項について報告を行った。

以 上